



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2022
11.30
No.101



【特集】2022年度実践研修開催

議論を通して実効性の高いBCP策定のための思考プロセスを学ぶ

CONTENTS

特集 2022年度実践研修開催

- 議論を通して実効性の高いBCP策定のための思考プロセスを学ぶ 2
- 介護福祉経営士セミナー開催のご案内 4
- 今月の介護ビジョン
●「登録アドバイザー」制度のご案内 5
- 介護経営に役立つ図書のご案内 6
- 第7回「介護福祉のみらい」作文コンクール 入選発表 7
- イベント紹介
●介護経営Lab投稿募集中!! 8



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3553-2896
<http://www.nkfk.jp>
〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号
S-GATE八丁堀9階
制作：株式会社日本医療企画

議論を通して実効性の高い BCP策定のための思考プロセスを学ぶ

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、11月13日(日)に2022年度「介護福祉経営士」実践研修を開催した。本研修は、1級の筆記試験合格後の「介護福祉経営士2級」から「介護福祉経営士1級」への等級変更の要件となっている。本特集ではその様子をレポートする。

現在の介護サービスを取り巻くリスクを 意識した上でBCPについて考える

今回の実践研修はBCP(Business Continuity Planning：業務継続計画)をメインテーマとして実施した。

BCPは企業が災害や感染症などによって緊急事態に遭遇した場合において、事業の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能にするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法・手段などを取り決めておく計画を指す。

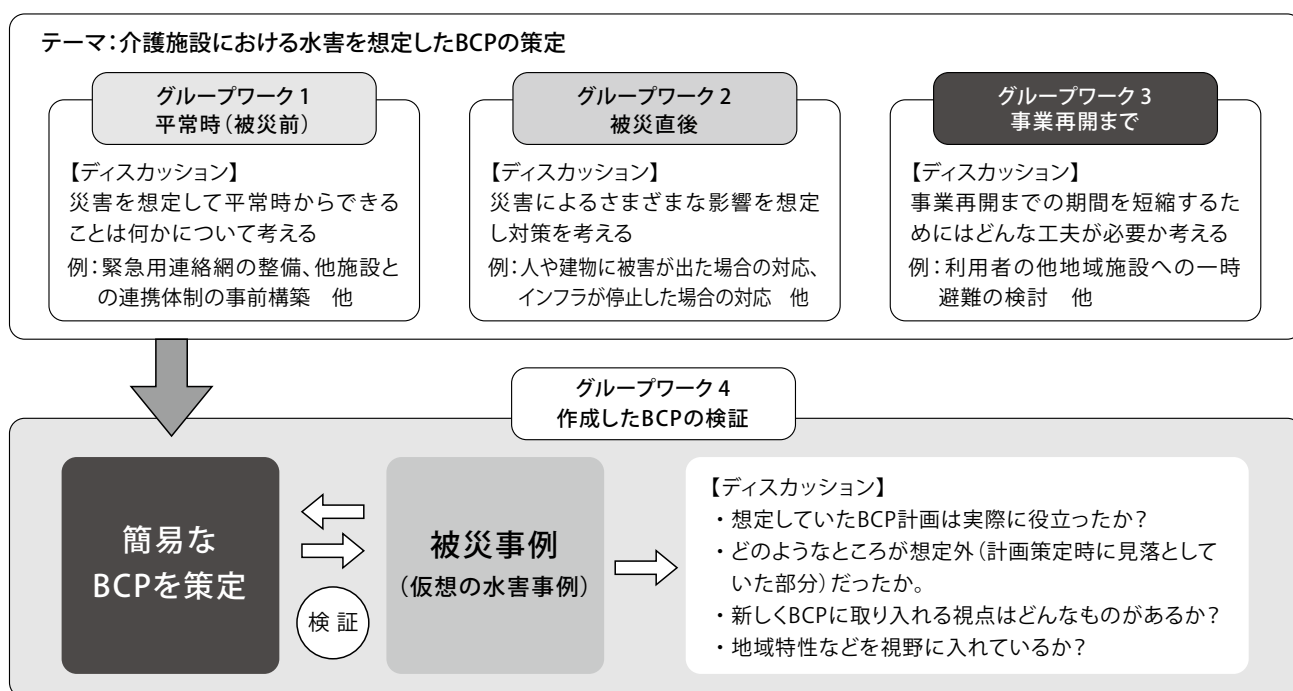
研修はBCP策定のプロセスの概要に加え、立案した計画内容の実効性を検証することを目的として、講義とグループワークを中心に実施した。

講義では宮島渡氏(日本介護福祉経営人材教育協会

北信越支部長、日本社会事業大学専門職大学院特任教授)がBCP計画の概要説明を行った。

宮島氏は昨今の介護サービス事業に関連する災害の事例について言及。その上で、「介護サービスを取り巻く災害のリスクは、自然災害(地震、風水害、雪害、津波、土砂災害)、それに伴うライフラインの寸断(断水、停電、食料、水、薬、衛生用品などの不足)、火災、建物倒壊や浸水、テロなど反社会的行為、感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザ、O157、ノロウイルスなど食中毒)、それに伴う風評被害など多岐にわたる。また、広範囲な災害の場合、利用者(入居者)とその家族、職員とその家族、取引業者とサプライチェーン、経営者自身も災害被害者になる可能性がある。今や想定外の災害はないと考えるべきだ」と語り、「介護サービスにおけるBCP(Business Continuity Plan)とは、災害を

図 2022年度実践研修グループワークの流れ



受けた直後のケアサービス事業者が、いかに迅速に事業の復旧と再開を目指し、災害以前の状態に現状復帰を図るか、それらを事前に実行計画を立案し、検証と必要な見直しを行っていくことである。危機の時代の経営は“SDGs”“VUCA”から“レジリエンス”へ移行しつつあり、避けることのできない災害を乗り越えるためには、明確な理念、目的(パーパス)を持って事業経営を維持する力としてレジリエンスが必要になる」と強調した。

自身の経験を元に現実的な意見交換の場となったグループワーク

今回の研修では、介護施設における水害を想定したBCPについて、4回に分けてグループワークを実施した(左ページの図参照)。グループワーク1では平常時に災害を想定して“準備すべきこと”をテーマにディスカッションを行った。議論では「水害などにより紙媒体の情報が流される危険があり、利用者情報が失われた場合に適切なサービスが継続できない。非常時に紙媒体を持ち出すことは非現実的であるため、サマライズしたものを必要時にアクセスできるよう利用者の記録の電子化などを平常時から行っておくべき」「災害時のマニュアルを事前に作成しておく必要がある」「備蓄在庫については優先すべき物品の確認や代替品の準備を行い、1階と2階など階をまたいで分散して保管できるようにしたほうがよい」と意見が挙がった。

「被災直後の課題・対策」をテーマとしたグループワーク2では「自分が所属する施設のスタッフを想像すると、防災道具の位置や使い方を確実に把握している人はあまりいないと感じる。例えば土嚢などの正しい使い方も分からない人が多いと思う。司令塔になれる人を複数配置できる体制づくりが必要」「職員自身が無事でも、職員の子供が負傷しているなど場合、協力を求めるのは現実的ではない。緊急時シフトの発動基準などを定めておくべき」「大雨の中をどう避難するのか、施設から動かさない人をどうすべきか、搬送順位などを決めておく必要がある」「備蓄在庫が底をついた場合に自治体や医療機関などから緊急に支援を受けるための体勢づくりが必要」といった被災直後にパニックにならず、冷静に問題に対処するためにはどうすれば良いのかという視点からの意見が活発に提案された。

グループワーク3では「事業再開までの課題・対策」として、「利用者の状態のレベル分けなどを行い、身体介護と生活支援での優先順位をつけるべきではないか？ 排泄など生

理現象へのケアが最優先となるが、利用者の状態とスタッフ・事業所側の状況により医療機関等への転送も考えなければならない。利用者の状態のレベルに応じたトリアージが必要」「短期的に収支が悪化した場合の資金確保も考えねばならない。補助金や融資などの対応も検討すべき」「非常時のシフトで勤務する従業員の肉体的・精神的疲労が心配。人材派遣会社や地域住民と協力して人員不足を解決する施策を考える必要がある。自分の経験上人材派遣会社はいきなり依頼しても対応してもらえないため、事前に契約などを結んでおくべきだと思う」といった意見が述べられた。

最後にグループワーク4では、実際に介護施設が被災した水害事例をベースにした仮定の被害想定事例と、1～3のグループワークを経て作成した簡易版BCPとの比較検討を行った。「備蓄やPCの水没による影響については分散保管や利用者情報の電子化などによりある程度対処できた」との意見があった一方で、「降水量を基準とした判断基準を作るべきだったように感じた」「避難場所が急遽変更になることについて想定していなかった。避難先については複数の候補を準備すべきだと思った」「職員の負傷や職員が参集できないケースについて想定が甘かった。避難先での動きや物品の取り扱いなどをどの職員でもわかるようにしておくべきだと気づいた」といった意見が述べられた。

また、参加者からは今回のグループワークに参加した感想として「今まで経験したことないことを想定するのは難しいと感じた。一人ではなく複数人または地域で考えて行く必要があると思う」「無数の観点があると感じた。そのため、皆で意見を出したり、経験者から話を聞くことが必要ではないか。災害レベルや法人によって考え方が異なるので色々な所から情報を得ることで視野が広がると思った」「フェイクニュースへの対策や、具体的に汚染された施設の清掃はどうすればいいのか、機材などは復旧できるのかなど、現実には被災した時の想定がまだまだ足りていないと感じた。災害が起きる前提で、“復旧をどうするか”を考える必要に迫られていると思う。特に重要データなどについては施設内から、クラウドへのデータ移行なども一つの対策だと思った」といった内容が述べられた。

今回の実践研修の参加者には介護保険サービスの関係者の割合が多かったことに加え、事業所の所長や事務長、管理者といった立場の参加者も含まれていたことから、参加者自身の経験談を元に意見が述べられるシーンが多く見られたことが特徴的であった。

MESSAGE 実践研修を終えて

「介護福祉経営士」実践研修委員長

宮島 渡

(日本介護福祉経営人材教育協会北信越支部長、日本社会事業大学専門職大学院特任教授)



講義でもお話しましたが、BCPの策定にあたっては、目的や意義、いわゆるパーパスと呼ばれるものを意識する必要があります。自分たちがどのような考えを元にBCPを策定したのかを法人に関わる全ての人たち(従業員、利用者とその家族、関連企業など=ステークホルダー)に開示していくことで、自分たちが事業を継続することが地域社会でどのような意義があるのかが見えてきます。

これからBCPの策定を考えている方はこうした大きな視点で考えて行くようにしていただきたいですね。

その点、今回の参加者の皆さんの発表を聞いてみると、自分たちの使命(ミッション)を意識されており、責任感を感じておられることがよく伝わってきました。社会福祉がただ単に目の前の利用者のためのものではないことをよく理解されている発表ばかりであったと感じています。

参加者の中には今後、自事業所でのBCP策定のきっかけにしたいとおっしゃられている方もいらっしゃいましたが、実はBCPは作ろうと思えば行政などの資料を元に手早く作ってしまうことも不可能ではありません。

しかし、それではあまり意味がありません。本日の研修の

感想にもあったとおり、BCPの策定にあたっては様々な視点を盛り込んでいくことが重要です。部署や部門を超えたタスクフォースチームを作って原案を作成し、それを現場に周知し、よく検討する。そうしたプロセス自体が職員全体の意識付けやスキルアップにつながっていきます。

例えば、グループワークの中では備蓄在庫についての考察が行われていましたが、「それがないと困る物」を一番理解しているのは現場の職員です。机上のシミュレーションの中で見えてくるそうした細かいことを一つひとつBCPに盛り込んでいくことで本当に実効性の高い計画を策定していくことができるでしょう。

近年、異常気象をはじめとする災害が頻発するようになってきたことで、自分の所でも起きるかもしれないと考える方も増えてきているはずです。だからこそ、事業を継続するために何が必要なのかを事業所全体で考えて行っていただきたいと思います。

今回実践研修に参加された皆さんには本日の経験を活かし、より良いBCP策定のための中心的存在として活躍してほしいと思います。

参加者の声

講義を聞くだけではなく、手を動かす(実践すること)で自分でもできるかもしれないという気持ちになりました。

▲ 介護保健サービス法人本部勤務

他の受講者とのグループワークによって新たな視点を共有できた点が良かった。

▲ 介護施設勤務



介護福祉経営士セミナー開催のご案内

今からでも遅くない! 中小介護事業者向けICT化 スタートアップセミナー

急速に進む日本の高齢化や、改善の兆しが見えない人材不足などを背景に、介護現場の負担感は年々増加しています。こうした中、業務の効率化を図るため、介護現場のICT化が推し進められています。新型コロナウイルス感染症の流行や令和3年度介護報酬改定をきっかけに、ICT化を進める介護事業所も増加しつつあり、介護現場のICT化は介護経営上の重要な課題となっています。

本セミナーではICT化の準備・検討を進めている中小介護事業者に対して、ICT化に向けての具体的なロードマップ、行政による支援の活用方法などICT化を効率的に進めるための基礎知識、失敗しないための心構えなどを解説します。

■日 時:2022年12月22日(木) 14:00~15:00
■講 師:神内秀之介氏(ふくしのよろずや神内商店合同会社 代表、介護福祉経営士1級)

■会場:オンライン(Webライブ中継)による開催

■参加費:会員 = 無料 一般 = 2,000円(税込)

※会員とは介護福祉経営士、医療経営士、
栄養経営士の正会員(申請中も含む)をさします。

詳細はこちらから

<http://www.nkfk.jp/seminor.html>



地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

国が進める“科学的介護”。データを活用し、エビデンスの裏づけのあるケアを提供することでサービスの質を高めていこうとするものだが、センサーなどの最新機器でデータを独自に収集・分析し、成果を上げている事業者も登場している。今後、事業者は介護現場でのデータ活用はどう向き合い、対応していけばいいのか。主体的に取り組む事例等を通して探っていく。

ケアの質を向上させる 介護現場のデータ活用

解説

データ活用がもたらす未来の介護

紀伊信之氏

(株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門部長/
プリンシパル)

事例1

今の一点を切り取った値だけでなく長い時間の流れのなかでデータを捉えるべき

株式会社AwesomeLife

事例2

見守り機器による睡眠データを活用。

利用者のQOL向上と夜勤帯の職員の負担軽減につなげる

社会福祉法人スマイリング・パーク

事例3

自立支援など「3つの軸」でデータに基づく事業運営を推進

株式会社ポラリス

第2特集

頼れる人材に託したい！ 次世代の経営者育成法

2022年12月号

(2022年
11月20日発売)



<http://www.jmp.co.jp/carevision/>

- 毎月20日発行
- 定価: 1,320円(税込)
- 定期購読料: 15,840円(税込)
- ※ 会員価格は12,672円(税込)

【購入に関するお問い合わせ】
株式会社日本医療企画 Tel:03-3553-2891



「登録アドバイザー」制度のご案内

株式会社日本医療企画

株式会社日本医療企画が運営するヘルスケアマネジメントの情報サイト「ヘルスケア・マネジメント.com」内にて「登録アドバイザー」制度を運営しています。医療経営士、介護福祉経営士、栄養経営士の皆様にサイト上で「登録アドバイザー」にご登録いただくと、福祉施設・企業等がその情報を自由に閲覧・検索できるシステムです。経営士の方であればどなたでも無料で登録が可能となっております。

困りごとを抱える福祉施設・企業等と今大活躍中の経営士とをつなぐ場となっていますので、皆様の活動の場を広げるきっかけとしてぜひご活用ください。

HC ヘルスケア・マネジメント.com

<https://healthcare-mgt.com/adviser-list/about-adviser/>



■お問い合わせ: ヘルスケア・マネジメント.com事務局 (株式会社日本医療企画内 Tel:03-3553-2863)

▲詳細・登録はこちら

※下記書籍の注文書(会員割引適用)は協会ホームページよりダウンロードすることができます。

国民の介護白書2022年度版

日本の介護力を徹底検証 人生100年時代を生き抜く10の提言



- 第1部 日本の介護力を徹底検証——人生100年時代を生き抜く10の提言
 - ・介護離職の現状と課題、ヤングケアラーの実態調査と課題、介護福祉士養成の課題と将来展望 など
- 第2部 介護業界の課題と今後の動向
 - ・介護業界を支える強いリーダーの育成、介護のデジタル化によるサービスの質向上の実践と課題 など

編集委員：青木 正人(株式会社ウエルビー代表取締役)
 川淵 孝一(東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授)
 定価：3,960円(税込)⇒会員価格：3,168円(税込)
 体裁：B5判・並製/2色/216ページ

医療白書2022年度版

DXがもたらす日本の医療の新潮流——コロナ禍で得た教訓を未来につなげ!——

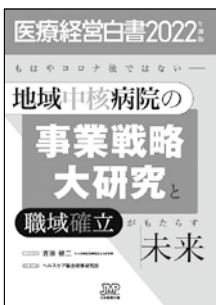


- 巻頭言 身近な医療DX、身近な医療変革
- 特別企画 DXがもたらす日本の医療の新潮流
 - 【鼎談】医療DX最前線——成功のための実践的思考法 など
- オピニオン コロナ禍で得た教訓を未来につなげ!
 - 【提言】医療職の働き方改革とタスクシフト・シェア、日本の医療の諸問題と将来展望 など
- 資料 データから読み解く医療DXの状況
 - 我が国におけるDX/医療DXに関する動き、令和4年度診療報酬改定と医療DX など

監修：今中雄一(一般社団法人日本医療・病院管理学会理事長/
 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野教授)
 定価：本体4,950円(税込)⇒会員価格：3,960円(税込)
 体裁：B5判・並製、256ページ

医療経営白書2022年度版

もはやコロナ後ではない——地域中核病院の事業戦略大研究と職域確立がもたらす未来



- 視 点 わが国の医療提供体制と病院経営の現状
- 第1部 特集① 地域を支える医療機関のこれからの事業展開を探る
 特集② 経営部門における職域確立がもたらすもの
- 第2部 医療界最新経営情報——2022年度トピックス
 2024年度診療報酬・介護報酬同時改定への見通し、医薬品・医療機器業界の動向 など
- 第3部 病医院経営関連データ集

編集委員代表：吉原 健二(日本医療経営実践協会理事)
 定価：5,720円(予価)※会員割引適用予定
 体裁：B5判・並製/2色/256ページ(予定)

医療経営の確立をめざして

ヘルスケア業界データブック 2022 数値で理解する医療・介護・関連産業の経営動向



- 第1部 【分析編】
 医療政策の動向と2022年度の診療報酬改定、医療現場のデジタル化 他
- 第2部 【データ編】
 医療、介護、関連産業の最新動向 他

監修・編集：株式会社日本政策投資銀行/株式会社日本経済研究所
 定価：3,300円(税込)⇒会員価格：2,640円(税込)
 体裁：A4判/320ページ

「介護福祉のみらい」 作文コンクール 入選発表



© Paylessimages - stock.adobe.com

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会(代表理事=多田 宏)は、このほど、第7回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施いたしました。将来を担う中学生、高校生が、介護や福祉の大切さを知り、未来に関する考えや思いを発表することを目的に、令和4年6月1日から9月12日にかけて作品を募集しました。

全国より応募総数506編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長(日本生活支援学会会長/浦和大学名誉教授)のもと、厳正な審査を行った結果、下記のとおり入選作品が選出されましたので発表いたします。

受賞者には本会より記念品を贈呈いたします。

高校生の部

最優秀賞

こころの介護

おおや ゆい
大家 結衣さん

東京都立赤羽北桜高等学校
介護福祉科2年

優秀賞

新しい「介護」の一面

みき はるか
三木 遥香さん

兵庫県立龍野北高等学校 総合福祉科3年

佳作

ありがとう

せきざわ はると
関澤 春人さん

栃木県立真岡北陵高等学校
介護福祉科3年

介護や福祉に関する実体験等 を通して感じたこと・考えたこと

ささぬま あみ
笹沼 亜珠さん

栃木県立真岡北陵高等学校 介護福祉科1年

言葉

けど まなみ
毛戸 愛美さん

兵庫県立日高高等学校
福祉科2年

中学生の部

最優秀賞

福祉について気づいたこと

すなかわ りせい
砂川 琉聖さん

宮古島市立狩俣中学校 1年

優秀賞

介護者と介護を受ける人の 幸せのために

いさ こはる
伊佐 心晴さん

宮古島市立狩俣中学校 1年

佳作

今の私たちにできること

ひろた ゆいな
廣田 結愛さん

館林市立多々良中学校 3年



黒澤貞夫審査委員長のことば

この度は、全国各地の中学生、高校生の皆さんから沢山の作品をお寄せいただきましたこと、本当に感激しております。

日本の未来を担う皆さんの真摯なお気持ちを作品から感じ取ることができ、とても嬉しく思いました。

今回の入選作品は特にバランスに優れ、整った文章であると審査員一同で評価した作品です。しかし、入選されなかった方々の作品も素晴らしい内容のものばかりであり、すべての皆さんに賞を差し上げたいという気持ちでいっぱいです。

応募作品の特色として、自分の体験を素直に書いている作品が多かった点が挙げられます。そして体験の内容については大きく分けて二つありました。一つは学校で学んだことを実際の体験でどう活かしていきたいかについて書かれた作品。もう一つは家庭の思い出や実

習施設でのこと、新聞などを読んで学んだことなどを取り入れている作品です。

学校の知識だけでは十分ではありません。しかし、ただ実践するだけでも不十分です。その両者がうまく組み合せてこそ、人間の社会の幸せというものが成り立ちます。

その意味では、今回皆さんが自分の体験と学習・勉強したことをうまく組み合わせ作文にまとめられていることは大変すばらしいことだと思います。

皆さんが一つの作文を作り上げたその努力は皆さんの将来にとって輝かしい思い出となり、実績となるものと信じております。

若い皆さんには、これからの日本の将来を頑張って支えていってほしいと審査員一同願っております。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
TEL:03-3553-2896 Mail:info@nkfk.jp



日本医療企画

第8回 最新医療経営PHASE3オンラインセミナー 職員を育み、経営に活かすための 「新しい」病院ブランディング

病院の経営情報を提供する月刊誌「最新医療経営PHASE3」の内容を振り返りながら深く掘り下げるオンラインセミナー。
今回は、12月号特集「これを知らないと時勢に遅れる！病院ブランディングの新常識」をテーマに、医療法人慈公会公平病院の公平誠理事長・病院長をゲストスピーカーに迎える。

- 日時:2022年12月6日(火) 18:30~20:00
- 講師:公平誠氏(医療法人慈公会 公平病院 理事長・病院長)
- 開催方法:オンライン(Zoom) ※ミーティング形式となります
- 参加料:3,000円 ※税込



お申し込みはこちら▼

<https://phase3-2212.peatix.com/>

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 セミナー事務局
TEL:03-3553-2885



高齢者住宅新聞社

第12回介護経営サミット

「介護経営サミット」では介護経営に役立つ情報をお届け。全17講座がオンラインで学べる3日間、聴講は無料。

講座(一部)

介護事業者が取り組むべきSNS・動画マーケティング3つのポイント
～介護系動画・SNS 20万フォロワーのトップランナーが解説～
向笠元氏(株式会社カイゴメディア代表取締役社長)

外国人介護職員の可能性と限界
～作戦を踏まえながらの活用～

結城康博氏(淑徳大学総合福祉学部教授)

令和の時代の介護施設の生産性向上とは
～今後の施設経営にMUST!入居者満足やDX、それを支える設備について～
竹下康平氏(株式会社ビーブロッド代表取締役)

結審間近! 令和6年介護保険法改正審議の動向と事前対策
～最新情報に基づく大胆予想は必見～

小濱道博氏(小濱介護経営事務所代表)

- 日時:2022年12月6日(火)~12月8日(木)
- 開催方法:オンライン(ライブ配信/Zoomウェビナー)
- 参加費:無料

お申し込みはこちら▼

<https://notice.koureisha-jutaku.com/sp/64>

お問い合わせ 高齢者住宅新聞社
「介護経営サミット」事務局
E-mail:seminar@koureisha-jutaku.com



一般社団法人ユニバーサルアクセシビリティ評価機構

第6回FTIC

ICT/ロボット研究者開発者や起業家との出会い、Research Networkづくりを目指すFTIC(地域包括ケアのための未来型テクノロジー研究会)が第6回大会を開催。
今回も、HARP: RoCS(介護ロボットの社会実装モデルに関する国際共同研究~人・ロボット共創型医療・介護包括システムの構築に向けて~Harmonisation towards the establishment of Person-centred, Robotics-aided Care System)との共同開催を予定しており、介護ロボットとの共創社会にむけた海外の取り組みをアイルランド、デンマーク、オーストラリアの実例を交えて紹介する。

- 日時:2022年12月17日(土) 15:00~18:00
 - 基調講演:鈴木豊太郎氏(東京大学大学院情報理工学系研究科教授)
中井孝之氏(一般社団法人シルバーサービス振興会 常務理事)
 - 開催方法:会場 & オンライン(Zoom)
 - 会場:日本福祉大学 東京サテライトキャンパス
(東京都港区新橋6-9-6 12東洋海事ビル3階)
 - 参加費:2,000円
- ※内容はすべて予定です。予告なく変更する場合がございます。

お申し込みはこちら▼

<http://www.uaeo.or.jp/ftic/>

お問い合わせ 一般社団法人UAアーク内 FTIC事務局
E-mail:ftic@uaeo.or.jp



保健・医療・福祉サービス研究会

“小濱道博氏”の介護保険制度改正の 徹底解説と介護事業戦略セミナー

小濱道博氏を迎え、24年介護保険制度改正の審議報告解説と制度・報酬改革に向けた介護事業戦略について徹底解説。

- 日時:2022年12月24日(土) 13:30~17:30
- 講師:小濱道博氏(小濱介護経営事務所代表、株式会社ベストワン取締役)
- 開催方法:会場 & オンライン & オンデマンド & DVD&CD(選択可)
- 会場:コリドースクエア銀座7丁目2F(HMSセミナールーム)
(東京都中央区銀座7-2-22)
- 参加料:一般▶26,400円、HMS会員(法人・個人会員)▶23,760円、
HMS会員(会報誌購読会員)▶25,080円 ※税込

お申し込みはこちら▼

<https://www.hms-seminar.com/seminar/?id=1664871160-702466>

お問い合わせ 保健・医療・福祉サービス研究会
TEL:03-6823-8700



介護経営Lab 投稿募集中!!

介護経営Labは介護福祉経営士の皆さんが普段感じられている悩みや、疑問をご投稿いただき、有志の介護福祉経営士がそれに応える読者参加型の新企画です。

お寄せいただいた投稿を「介護福祉経営士ニュース」の紙面上でご紹介させていただきます。(また、記事の寄稿をご希望の場合は同フォームの備考欄にご記入ください。「介護経営Lab」とは別に記事掲載に関してご連絡させていただきます)

URLをクリックまたはタップすると投稿フォームに移動します

<https://forms.gle/CYdvT3c3zPirsimj6>

